

くすりのしおり

内服剤

2022年07月改訂

薬には効果（ベネフィット）だけでなく副作用（リスク）があります。副作用をなるべく抑え、効果を最大限に引き出すことが大切です。そのために、この薬を使用される患者さんの理解と協力が必要です。

製品名：ミコブティンカプセル 150mg

主成分：リファブチン (Rifabutin)

剤形：濃赤褐色/濃赤褐色のカプセル剤、外径 7.6mm、長さ 22mm

シート記載など：MYCOBUTIN、Pharmacia&Upjohn



この薬の作用と効果について

リファマイシン系抗生物質で、抗酸菌の RNA 合成を阻害することにより抗菌作用を示します。

通常、結核症、マイコバクテリウム・アビウムコンプレックス (MAC) 症を含む非結核性抗酸菌症の治療、HIV 感染患者における播種性 MAC 症の発症抑制に用いられます。

次のような方は注意が必要な場合があります。必ず担当の医師や薬剤師に伝えてください。

- ・以前に薬や食べ物で、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある。肝機能障害、腎機能障害がある。
- ・妊娠または授乳中
- ・他に薬などを使っている（お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、他に使用中の一般用医薬品や食品も含めて注意してください）。

用法・用量（この薬の使い方）

- ・あなたの用法・用量は（：医療担当者記入）
 - ・結核症：通常、成人は 1 回 1～2 カプセル（主成分として 150～300mg）を 1 日 1 回服用します。多剤耐性結核症では 1 回 2～3 カプセル（300～450mg）を 1 日 1 回服用します。
 - ・MAC 症を含む非結核性抗酸菌症、HIV 感染患者における播種性 MAC 症：通常、成人は 1 回 2 カプセル（主成分として 300mg）を 1 日 1 回服用します。
- いずれの場合も、必ず指示された服用方法に従ってください。
- ・飲み忘れた場合は、1 日以内に気がついた場合であれば、気がついた時点で 1 回分を飲んでください。絶対に 2 回分を一度に飲んではいけません。
 - ・誤って多く飲んだ場合は医師または薬剤師に相談してください。
 - ・医師の指示なしに、飲むのを止めないでください。

生活上の注意

- ・白血球減少症、血小板減少症などの血液障害があらわれることがありますので、定期的に血液検査が行われます。
- ・肝機能障害があらわれることがありますので、定期的に肝機能検査が行われます。
- ・尿、糞、皮膚、唾液、痰、汗、涙液が橙赤色になったり、コンタクトレンズが着色することがあります。

この薬を使ったあと気をつけていただくこと（副作用）

主な副作用として、吐き気、嘔吐、発疹、尿変色、発熱などが報告されています。このような症状に気づいたら、担当の医師または薬剤師に相談してください。

まれに下記のような症状があらわれ、[]内に示した副作用の初期症状である可能性があります。

このような場合には、使用をやめて、すぐに医師の診療を受けてください。

- ・腹痛、頻回の下痢、血便 [偽膜性大腸炎]
- ・咽頭痛・頭痛・頭重、全身けん怠感、鼻血・歯ぐき・皮下の出血 [白血球減少症、貧血、血小板減少症、汎血球減少症]
- ・全身けん怠感、食欲不振、皮膚や白目が黄色くなる [肝機能異常、黄疸、肝炎]
- ・顔のむくみ、尿量減少、頭痛 [腎機能障害]
- ・視力低下、かすみ目、眼の痛み [ぶどう膜炎]

以上の副作用はすべてを記載したものではありません。上記以外でも気になる症状が出た場合は、医師または薬剤師に相談してください。

保管方法 その他

- ・乳幼児、小児の手の届かないところで、直射日光、湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・薬が残った場合、保管しないで廃棄してください。廃棄方法がわからない場合は受け取った薬局や医療機関に相談してください。他の人に渡さないでください。

医療担当者記入欄

年 月 日

より詳細な情報を望まれる場合は、担当の医師または薬剤師におたずねください。また、医療関係者向けの「添付文書情報」が医薬品医療機器総合機構のホームページに掲載されています。